

まきびと

2013年 社会福祉法人
クリスマス号 牧人会

961-8061 福島県西白河郡西郷村
小田倉字上上野原 158 番地 1

TEL 0248-25-2046
FAX 0248-25-3776
振替口座 02160-6-244

クリスマスを迎えるとき、放射能被害の中から新しい福祉基盤の構築へ



白河めぐみ学園・白河こひつじ学園の
クリスマス燭火礼拝



今もこの数値を示している白河めぐみ学園・白河こひつじ学園園庭に設置された線量計（2013年10月4日現在）

これまでの福祉サービスを基盤に、新しい福祉支援環境を構築する働きに献身します。理事長 山下勝弘

東日本大地震と原発事故被害が発生して2年8ヶ月が経過し、まもなく2013年のクリスマスと2014年の新年を迎えます。この時に、当会の現状を感謝をこめてご報告すると共に、みなさまがこれからも当会の働きにご理解とご支援をおよせくださいますようお願いいたします。

当会の場合も、原発事故による放射能被害は依然として未解決で、深刻な状態が継続しています。この状況下で、当会の今年度事業として、以下の事業と計画を重点的に実施・推進しています。

■ 福島県内に所在する関係福祉施設、事業所の除染事業の早期実施と安全な生活環境の確保

当会が運営する児童福祉施設「白河めぐみ学園」「白河こひつじ学園」のグランドの一角には、2011年9月に実施したグランドの放射能除染作業によって発生した汚

染土が、現在でも青いビニールシートをかけたままの状態で保管されています。周辺の除染作業もまだ計画段階で、実施されていません。この環境下で除染事業の早期実施と、食生活を含む安全な生活環境の確保と構築のための活動を推進します。

■ 地域社会の社会福祉基盤を強化増進する支援活動の展開と事業の推移

地域社会の要望と信頼にこたえて児童デイサービス事業所を福島県棚倉町、同南会津町に開設します。また、福島県内の社会環境と、そこに発生している新しい福祉的需要を受けとめ、地域社会の福祉的基盤の強化増進をはかるために、2013年度事業として、共生型福祉施設（障害児童と高齢者を対象にした通所型支援施設）の整備を具体的に推進しています。

今もっと 変える力をください

地震、津波、放射能の恐怖
不気味な 不安も
それをつつむ 希望が
クリスマスの できごと・・・
その強い 思いの中で、
一昨年も昨年も クリスマスは
この思いと 祈りで 迎えた。

また、クリスマスを迎えるとき、
祈りは グランドの
片隅に 置かれている
線量計の 数値の変化に
向けられている。

クリスマス礼拝で 祈ること・・・
変える力を ください
変える力が わたしたちの
希望と 喜びにつながる
変える力があることを
信じる祈りが あふれる 歌声

それが いま響く歌声
「きよしこのよる ほしはひかり」

白河めぐみ学園 白河こひつじ学園のクリスマス
礼拝と、園庭の線量計の数値（10月4日現在）



発達支援センターたなぐら



発達支援センターみなみあいづ

地域の要望に応え、福島県棚倉町・南会津町に 発達支援センター「たなぐら」・同「みなみあいづ」が開園

開設が地域社会から強く要望されていた福島県棚倉町に、当会が運営する「発達支援センターたなぐら」が2013年8月1日から事業を開始しました。

このセンターは、棚倉町の支援を受けて町立幼稚園の建物の一部を利用して開設されました。利用定員は10名で幼児から学童含む支援を必要とする児童を支援対象にしています。開設初日から、

児童の楽しそうな声があふれていました。また、棚倉町と同じように、強く要望されていた南会津町でも「発達支援センターみなみあいづ」を開設し、2013年12月1日から事業を開始します。

この「発達支援センターみなみあいづ」は、南会津町が町立の旧保育所（利用定員90名）建物を改修し、当会に提供して開設されました。提供される建物の規模から、発達支援センター活動だけではなく、今後は児童を対象にした福島県南会津郡内の福祉拠点として、機能することが期待されています。

写真上左 開設された「発達支援センターたなぐら」
上右 12月1日開園の「発達支援センターみなみあいづ」
写真左 「発達支援センターたなぐら」利用児童

に積極的な支援を提供されました。
写真下 白河めぐみ学園・白河こひつじ学園グラウンドに寄付された遊具と安全マット・コート



多様な福祉支援活動を各地で展開 特に児童発達支援・相談支援業務を強化

当会では2013年度の福祉支援活動として、障害者自立支援法及び児童福祉法に関連する13種別44事業の福祉支援活動を、福島県と山形県内10市町村で展開しています。

特に、各種の地域相談支援業務を福島県内に3地域、山形県内で2地域で実施し、このなかで福島県安達地域、同県南地域では、2013年4月から基幹相談支援センター業務の委託を受けています。2014年度からは、福島県須賀川市でも相談支援業務の実施が決定しています。

同様に児童発達支援関係も今年度の福島県棚倉町、同南会津町につづいて他の地域からも開設の要望を受けています。

地域福祉と密接に関連するこの領域を、当会として今後とも重点的に強化し、事業展開を拡大する方針です。

教会で、家庭で、幼稚園・保育園で 当会の木工授産製品を、ご利用ください

当会の関係授産施設のユニークな製品に、木工製品があります。木工製品は、

キリスト教会関係家具、用品、積木などの木製玩具が中心で、高品質な製品として好評です。

ベストセラーは木馬と幼児用テーブル・椅子で、誕生日のプレゼント等に多く利用されています。その他、教会用品の聖餐盆、メモリアル・キャビネット、また高品質の幼児用小型木製玩具があります。

当会の授産製品の詳細は、インターネットのホーム・ページ (<http://www.makibito.com>) をご覧ください。ご注文は、各授産施設へ電話かFAXをお願いいたします。また、特注家具の製作注文に応じています。具体的には本部事務局・各授産施設にご相談、お問い合わせください。これからもみなさまの一層のご支援をお願いいたします。

写真 左上 特製高級十字架 配布価額 10,000円
右上 木馬 配布価額 21,000円。その他の製品品目と価額については、当会のホーム・ページの製品案内をご参照ください。



感謝します。カタル基金支援

東日本大震災と原発事故被害支援として、特定非営利法人「難民を助ける会」をとおして、カタル国のカタル基金から当会の白河めぐみ学園・白河こひつじ学園の遊具グラウンド整備、あだたら育成園建物設備整備に1,650万円相当の寄付物件がありました。特に放射能被害を受けた福祉施設の児童の屋外活動を対象

牧人会後援会にご参加ください

感謝と報告

後援会会長 岩村 信二

牧人会後援会は1971(昭和46)年に社会福祉法人牧人会設立とともに、正式に活動を開始し、社会福祉法人牧人会の強力な協力支援団体として、現在にいたっています。

その主要な支援活動内容は、社会福祉法人牧会に連帯し、理解し、協力するとともに、これを財政的に支援することです。

2012年度に牧人会後援会へ納入された会員の会費総額は、5,868,450円で、これは個人会員と団体会員をあわせて628会員のみなさまが協力してくださった結果です。この納入された会費と昨年度繰越金を加えて、6,000,000円を2012年度の助成金として、社会福祉法人牧会へ捧げました。

後援会では2012年度は特に、社会福祉法人牧会が実施した「あだたら育成園 改築事業」をはじめ除染等の放射能対策を中心に支援をしています。

2013年度も、引き続きみなさまのご理解、ご加勢と共に、後援会活動へのご参加とご支援を、心からお願いいたします。(協賛広告)

白河めぐみ学園
Tel 0248-25-2046

白河こひつじ学園
Tel 0248-25-2055

あだたら育成園
Tel 0243-48-3111

須賀川共済育成園
Tel 0248-76-4155

あだち共済育成園
Tel 0243-48-3113

はなわ育成園
Tel 0247-43-3891

山形ひかり学園
Tel 023-672-2377

寒河江共済育成園
Tel 0237-86-7625

山形育成園
Tel 023-673-2575

すぎのこ園
Tel 0247-43-4391

発達支援センターまきびと
Tel 0248-25-2055

泉崎村障がい者支援センター
Tel 0248-53-3618

発達支援センターあだたら
Tel 0243-22-2800

相談支援センターこひつじ
Tel 0248-25-2055

まきびとの家
Tel 0248-25-2046

木工製品のご相談は 須賀川共済育成園 電話 0248-76-4155 あだち共済育成園 電話 0243-48-3113 寒河江共済育成園 電話 0237-86-7625

